



- ①館内作業

サービス・取組の実施状況を定期的に把握する。指標等については、日々(催事の場合は実施すること)結果を記録し、集計をシステムティックに行えるようにする。
- ②推進委員会

サービス計画に記載の「図書館の専門家等による第三者機関」。図書館協議会以外に定期的にサービス・取組の実施状況の点検・評価を行う機関。

図書館が作成したサービス計画の進捗管理(点検評価)資料について説明し、専門家による意見、アドバイスをいただく。

※「評価」とは、評価点をつけることではなく、取組に対する成果や課題を洗い出すこと。
- ③図書館協議会

図書館法に基づき館長の諮問に応じ意見を述べる機関として設置される協議会。第2期サービス計画4ページに記載のとおり、定期的にサービス・取組の実施状況の点検・評価を行う。
- ④アンケート

サービスの向上につなげていくための利用者の要望や満足度を把握する。(次期サービス計画の策定に向けて実施)
- ⑤次期計画の策定

策定期期は令和8年9月。令和6年度後半から策定準備を行う。
- ⑥連携により、効果・発展が期待できる機関・団体等から意見を聴取